

新中だより

令和5年1月16日
新庄市立新庄中学校
連絡先 TEL22-1555
文責 永井 康博



新庄中 HP



始業式で発表してくれた「新年の抱負」

1月6日に3学期の始業式を行いました。始業式では、各学年の代表生徒3人が新年の抱負を発表してくれました。新年の新鮮な気持ちで考え、発表してくれた3人の抱負を載せます。今後、抱負をしっかり意識して、達成してくれることを期待しています。

【3年A組 森 歩さん】

新しい年を迎え、いよいよ僕たち3年生は高校入試が近づいてきています。進路決定、中学校卒業、そして新しい高校生活が始まる2023年、僕は頑張りたいことが大きく三つあります。

一つ目は、残り3か月の中学校生活についてです。高校生活を見据えて、学校のルールや校則をきちんと守り、物事を自分で考えて判断して、落ち着いて生活していきたいと思っています。あたりまえなことかもしれませんが、僕にとってはとても大切なことです。また、入試や面接に向けてしっかり準備し、学習に励むことはもちろん、友達との時間も大切に過ごしていきたいと思っています。

二つ目は、生活習慣をしっかりすることです。僕は去年、寝る時間が遅くなったり、メディアを使い過ぎたりと、生活習慣が乱れてしまった時がありました。僕が志望する高校は、野球部に入部すると寮生活となります。正直、今の生活習慣では、ついていく自信がありません。今のうちにメディアとの付き合い方を見直し、規則正しい生活リズムを身に付けていきたいと思っています。

三つ目は、高校に入ってから野球を精一杯やることです。僕が入部を志望する野球部は、他県からも強豪選手が集まってくる、レベルのとても高い部活です。その中でレギュラーになるには、相当努力しなければいけません。僕は、高校に入るまでの残りの期間でいかに準備をしっかりできるかが大事だと思っています。中学校では軟式野球だったので、硬式ボールにしっかり慣れること、体力のレベルアップを中心に自主練に励みます。そして、入学したら自分の持ち味である走力を生かして、アピールし、野球の技術はもちろん、礼儀や自立心、精神力を高められるよう努力していきます。また、少ないチャンスを見逃さず、あきらめず、レギュラーを絶対に勝ち取って、幼い頃からの夢である甲子園に出場し、チームに貢献出来るよう、精一杯努力する決意です。

この一年は、甲子園出場という目標が達成できるかどうかが決まる、大事な一年になると思います。一日一日を大切に、今やるべきことを一生懸命やって、残りの中学校生活、悔いの残らないよう楽しんで過ごしていきます。そして、良いスタートを切りたいと思います。



【2年C組 小野 樹璃さん】

あっという間に折り返し地点を過ぎてしまった中学校生活。今年は、受験生になり今後の分岐点ともいえる大切な年になります。そんな今年の抱負は「何事にも全力で取り組み自分の力を高めること」です。ありきたりで当たり前のことのように感じるとは思います。しかし、どうしてこの抱負を選んだのかというと、これまでの私は与えられた課題をただこなすだけだったり、覚えたりするような上辺だけの取り組みしかできておらず、中身がなく本当に自分の力をつけることができなかつたと思うからです。例えば、勉強では、ただ点数や成績のために嫌でも仕方なく頑張ることがありました。それでは一応頭に詰め込んだだけで、本当に自分の力は伸びないと思います。これはライオンの皮を被ったシマウマと同じだと自分では感じています。このシマウマは、その時は強そうに見えても実際は何も変わっていません。今までの私を振り返ると、このようにその場限りの部分があったなと思いました。

今年は受験生にもなり、勉強の重要性も高くなると思うし、部活も残り8ヶ月程度しかないので、特に勉強と部活で意味のある頑張り方をしていきたいです。まず、力になる勉強をするためには、勉強を好きになることが大切だと思います。好きなものには興味がわくので定着しやすいと思うからです。また、楽しむことでやる気を出し、「やらないといけない」ではなく、自主的に勉強できるようにしたいです。そして、部活では毎回の練習を全力で楽しんで、引退したときに後悔のないような活動をしたいです。

実際に目標を達成するのは難しいと思うけど、日々努力して目標の姿に近づけるように頑張ります。



【1年B組 阿部 葉奈さん】

私の新年の目標は「いろいろな人に認められる人間になること」です。そのために私は「言葉遣い」と「人に対して平等であること」を意識して生活していこうと考えています。

中学1年生になり、仲の良い友達や先輩、先生に合わせて言葉遣いを改める場面が増えました。先生や先輩と友達のように話してはなれなれしいし、失礼かもしれない。でも、敬語を意識すると妙によそよそしく感じてしまう。などと、そのたびに「相手にふさわしい言葉遣い」について考えさせられました。私は、関わりのある人たちを大切にしたいです。相手を尊重する気持ちを表す手段の一つとして、言葉遣いを大切にしていきたいと思っています。

また、生徒中心で活動していく中学校で私が大切だと思ったのは、「平等・公平」な姿勢です。私たちが毎日過ごしているこの集団には、いろいろな考え方の人たちがいます。同じ考えの人もいれば、自分にはない考えを持っている人もいるでしょう。気持ちが合う人ばかりではないのが「集団」です。私は誰とでも同じように関わられたらなと思っています。自分の気持ちだけで行動することで、相手を傷つけてしまうかもしれません。違う考えの人とどう関わればいいのかと考えると、緊張するし、気まずくもなり、関わることから逃げたくなる

かもしれないけれど、自分の将来の成長のために、自分の気持ちを奮い立たせて頑張らなければならないと思います。自分を評価するのは「相手」です。今年は去年よりもっと相手の立場に立って行動していきたいと思っています。よく考えて、友達や先輩、先生、そして後輩たちに誠実に向き合っていきたいと思っています。

